

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 5月30日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 0 1 0 3 8 6 6
法人名	株式会社 コムスン
事業所名	コムスンのほほえみ 広島亀山
所在地	広島市安佐北区亀山2丁目15 - 33 (電 話) 082 - 819 - 3531
評価機関名	特定非営利活動法人西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成19年5月24日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 4 月 1 日
ユニット数	ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	人 常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	66,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(132,000 円) 入居金 132,000円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,080 円		

(4) 利用者の概要(5月 24日現在)

利用者人数	17 名	男性	7 名	女性	10 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	75 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	二宮内科医院、宇都宮歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

まわりに他の事業所のグループホームが数ヶ所あるという立地条件を地域住民の方の理解がよく深く、より交流も盛んで好立地として捉え又、より特徴を出していく努力もなされている(食事面)。ホーム設立4年目を迎えられ、これから益々内部の充実を計っていきこうとされているホーム長を中心にスタッフの意気込みが感じられた。傾聴ボランティアの取り組みは、入居者の穏やかな生活を支援する大きな力となっていると言える。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	職員はストレスを溜めやすく、その改善策として各ユニット毎に職員同士、交流を深めたり、しっかり話を聞く取り組みをしている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	地域密着型サービスとしての理念の取り組みを期待する。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。参加者は包括支援センター職員、自治会長、民生委員、入居者の家族等、活発な意見交換をされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族からの意見、苦情に対してしっかり受け止め、対応されている。入居者の近況は月1回手紙や写真を送っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、地域の行事に積極的に参加したり、ホームでの行事も参加を働きかけている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で理解できているとは言えない。		「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」というグループホームの基本方針を今一度、職員全員で検討されることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り時に唱和されており、介護を通して実現できるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入っておられ、行事に参加したり、ホームの行事案内もされ、交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	制度の見直しで、評価内容が変わって初めての取り組みで、改善に向けて努力されている。		評価も円滑に、かつ実りあるものとする為にも、更なる取り組みをされ、サービスの質の向上に向けての努力に期待します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回、開催されており、入所者、家族、地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員、スタッフ等で積極的な意見交換をされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターとは連絡をとっている。又、定期的に「コムスン通信」を持参して、案内、報告等をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、担当者が入所者一人ひとりの近況を手紙に書いて送付したり、面会時にも話をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見や苦情を言いやすい雰囲気があり、その都度対処している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には、各ユニットの職員は固定しており、馴染みの職員で支援している。移動の時には、家族の方にも連絡している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修が、組まれていて、出来るだけ交代で参加しているが、充分とは言えない。		研修報告は、毎月の全体会議等で報告しているが、日々の体験を学びに繋げていく機会を望む。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所の見学訪問をして交流をしながら、サービスの向上に向けて取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	ホーム長、ケアマネ、家族との三者による話し合いをし、その後スタッフでカンファレンスを行なう。		ホームと本人の人間関係を築きながら、徐々に馴染みの関係を創っていき、サービスの利用を開始する様、望みません。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	毎日の生活の中で、入所者一人ひとりをしっかり見つめ、その方に合った会話の流れを作ったりして、穏やかに過ごせる環境作りに努力している。		ご本人がその人らしく過ごせるよう支援し、みんなと共に過ごし、学び、支え合う関係を作っていられる事を期待します。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	入所者一人ひとりを把握するために、家族への聞き取りを中心にし、プランを立てている。		入所者本人が、その人らしく暮らせるよう、一人ひとりに関心を寄せ、色々な角度から見る。(センター方式で取り組んでいる)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入所者本人、家族を含め、アセスメントを行い、ご本人のニーズに合わせて介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月に一度、見直しをされている。又、見直し前にモニタリングを行い職員の意見を聞きながら、本人にとって必要なサービスを提供できるよう作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かして、入所者にとって負担となる受診、医療処置をとれる様、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医が月2回往診している。訪問看護ステーションとの連携もできている。		24時間対応してくれ、急変時には携帯電話で指示をいただいている。
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今まで本人や家族の希望はないが、終末期を看取った職員もいて対応は可能である。		事前に職員全員で、話し合いの機会を持たれるとよい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の方の尊厳についてはいつも話し合っている。個人情報、きちんと管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に利用者本位の考え方で物事を勤め、一人ひとりの個性を認めながら、その方のペースに合わせている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入所者の方の好みを聞いて、毎日買い物に行き、旬のもの等をメニューに取り入れている。食事の準備や片付けも出来る人にも関わっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴している。毎日の方もおられ、午前、午後と順番に入りたい時に入浴されている。入浴しない人は清拭している。		入浴するのが億劫な方には「後で好きなものを食べましょうね」等と誘導しながら入ってもらっている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事のセッティングや片付け、食器拭き等、自分のペースでされている。		日々の生活の中で、人の役にたっているという、その喜びが生きがいにつながっている。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入所者の方の体調などを見て、少人数で散歩したり、庭へ出たりしている。		戸外の空気に触れることで、気分転換となったり、太陽に当たって日光浴したりと、回数を増やせる様、工夫を望みます。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は夜はかけているが、日中はかけていない。		安全面を考慮して、1階のフロアに鍵をかけているが、センサー等を工夫して、鍵をかけない取り組みに期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、消防署の方が来られた時、避難訓練を実施している。		運営推進委員会議等を通して、地域の方々の協力が得られるよう働きかけている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量、毎日の水分補給は、使用するコップ等でこまめに記録し、少ない方には声を掛けながら支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、畳の部屋もあるが、テーブルが置いてあり、入居者の方より職員が事務机にしているようにも見えた。		入居者の方一人ひとりが、自分の居場所を確保できる様に椅子等の配置の工夫を望みます。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、馴染みのものを置いている方もあるが、一応にして馴染みの家財は少ないように見受けられる。		入居者の方の人生の中で一番良かった時の写真を飾る等して馴染みの空間にされることを期待します。